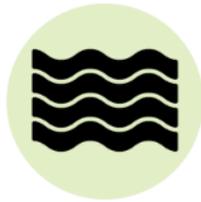


渋谷の新たなランドマーク「Shibuya Sakura Stage」内  
案内誘導の拠点である結節広場「桜丘広場」の  
案内サインシンボルマークが決定！



新たに選定されたデザイン：桜丘広場



結節広場シンボルマークデザイン：左から、ハチ公広場、稲荷橋広場、西口広場、桜丘広場

このたび、渋谷駅前サインガイドライン<sup>※</sup>運営委員会は、渋谷駅周辺の新たなランドマークとなる施設「Shibuya Sakura Stage」内に設置され駅周辺の案内誘導の拠点として位置づけられている「結節広場」<sup>※2</sup>の名称が「桜丘広場（さくらがおかひろば）」に決定したことに伴い、「桜丘広場」のシンボルマークデザインを決定しました。

桜丘町のシンボルであるさくら坂や広場名称をモチーフに、既存のサインシンボルマークデザインとの相性を鑑み、一般の方々に親しんで頂けるデザインとして本作品に決定しました。

選定された案内サインシンボルマークは、2023年4月以降駅構内や駅周辺の案内サイン表示面、案内図、各種地図等に順次反映されます。

広場空間そのものの案内だけでなく、新たなまちのアイコンとしても広く活用し、渋谷のまちのさらなる魅力向上を目指します。

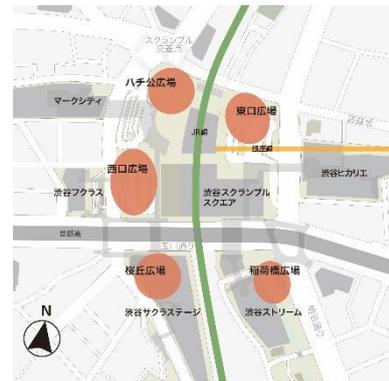
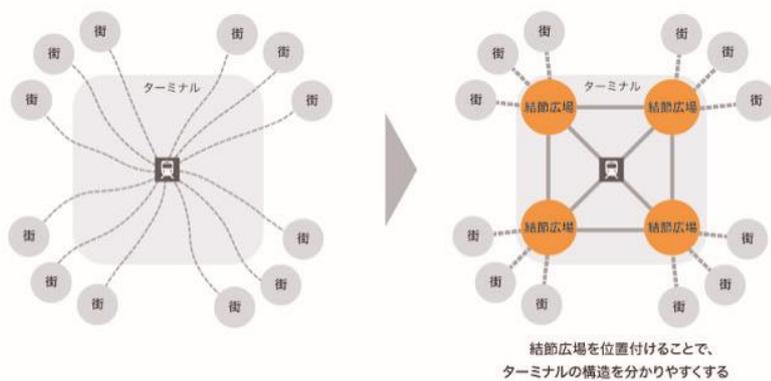
※：渋谷駅前サインガイドライン

世界に開かれた生活文化の発信拠点・渋谷にふさわしく、初めて訪れる人にも分かりやすい案内誘導を目指し、関係行政団体と渋谷駅中心地区の基盤整備や再開発などを担う事業者が官民連携した取り組みの実現を目指すことを目的に、渋谷駅前サインガイドライン策定委員会で策定されたガイドライン。

渋谷駅前サインガイドライン策定委員会・渋谷駅前サインガイドライン運営委員会で展開してきた渋谷駅前サインの取り組みは、渋谷区公共サインとともに、「第54回日本サインデザイン大賞」の「日本サインデザイン大賞/経済産業大臣賞」を受賞しています。

※2:結節広場について

渋谷駅前サインガイドラインでは多くの人々が行き交い、ターミナルと街との接点となる空間を「結節広場」と位置付け、広場を經由してターミナル内の移動経路を案内しております。これにより、来街者がターミナルの構造や街の方向を把握することを目指しております。



■デザインコンセプト

「それぞれの広場の個性をシンプルに図案化」

様々な人が待ち合わせや渋谷へ出かけていく目印や通過点となる5つの広場。それぞれの5つの広場の特色や目印となるものを探し、モチーフにすることで「渋谷らしさ」を表現。また、できるだけ要素を減らしシンプルにデザインすることで、分かりやすいサインとして機能するようなシンボルマークを目指しました。

■作者：浅岡 敬太氏

兵庫県神戸市生まれのグラフィックデザイナー。現在は東京の広告制作会社で勤務。

作者のコメント

「ハチ公広場などに引き続き、渋谷の新たなランドマークとなる場所の拠点である桜丘広場のサインシンボルマークのデザインをさせていただきました。様々な人が行き交う渋谷という街で、今後数多くの人が目にするものに関わることができたのはデザイナーとしては凄く光栄に思います。これからの渋谷と同じく、長く愛されるものになればいいなと思います。」



## 渋谷駅前サインガイドライン運営委員会について

### ■目的

渋谷駅前を対象に多様な関係者が参画した渋谷駅前サインガイドライン策定委員会にて策定されたガイドラインに従い、設置された案内サインの持続的な展開及び適切な更新計画の作成

### ■委員

座長：渋谷区まちづくり推進部まちづくり第二課 上田重孝氏

副座長：一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント事務局長 井上琢磨氏

専門アドバイザー：株式会社竹内デザイン 竹内誠氏

委員：

(行政) 東京国道事務所

(民間) 東日本旅客鉄道株式会社、京王電鉄株式会社、東急電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社

渋谷駅街区共同ビル事業者（東急株式会社・東日本旅客鉄道株式会社・東京地下鉄株式会社）、渋谷スクランブルスクエア株式会社、渋谷ストリーム管理組合、渋谷フクラス管理組合、渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合、渋谷ヒカリエ管理組合、渋谷駅街区土地区画整理事業施行者、株式会社渋谷マークシティ、東京都交通局、東急バス株式会社、小田急バス株式会社、京王電鉄バス株式会社、株式会社フジエクスプレス

オブザーバー：国土交通省都市局都市計画課、東京都都市整備局都市基盤部、東京都建設局道路管理部、渋谷区まちづくり推進部、渋谷区土木部

事務局：渋谷区まちづくり推進部まちづくり第二課、一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント

---